

平成 29 年 11 月吉日
海外事業担当役員様

株式会社自動車部品会館
協賛：(一社) 日本自動車部品工業会関東支部

【シリーズ 成功する海外子会社の経営管理】(第 9 回目)
「グローバル・クライシス編」研修会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当社の事業につきまして、ご高配ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。

日本企業が海外事業で成功するためには、日本では予想しがたいビジネスリスクやクライシスへの対応が不可欠となります。これら海外事業で発生するビジネスリスクやクライシスを的確に処置するためには、クライシス対応に役立つ知識・ノウハウを本社・現地子会社が一体となって有し、問題発生時に迅速に対応する事が求められます。今回のセミナーでは、近年、日本人がテロをはじめとする凶悪な事件に遭遇する危険性が高まる中、安全対策、緊急事態発生時の対応策について演習を交えた研修会を **【シリーズ 成功する海外子会社の経営管理】(第 9 回目)** として今回は各国のビジネスリスクを踏まえた「グローバル・クライシス編」のテーマにて平成 30 年 1 月 23 日(火)に開催いたします。

研修内容の詳細は、別紙のとおりでございますので受講をご希望される方は別紙受講申込書により、平成 30 年 1 月 16 日(火)までにお申込下さいますようご案内申し上げます。

敬具

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第9回目）

■テーマ

各国のビジネスリスクを踏まえた 「グローバル・クライシス編」 研修会

■講師

コンサルビューション株式会社

代表取締役社長 高原彦二郎氏

株式会社オオコシセキュリティコンサルタンツ

代表取締役社長 大越 修氏

副社長 萩 隆之介氏

特別顧問 菊池 彰夫氏

■日程

開催日時：平成30年1月23日（火） 午前10時～午後4時まで

■開催場所

自動車部品会館 第1会議室（6階）

東京都港区高輪 1-16-15（地図参照） 電話：03-5422-6351

■受講料

30,000円【税込】（テキスト・昼食代を含む）

JAPIA 会員会社は 18,000円【税込】

◎申込要領

① 受講申込書に受講者の会社名、住所、電話、所属、役職名および氏名を明記して、**1月16日（火）（必着）**までにFAXにてお申込ください。折り返し受付票をFAXいたします。

もし、申込み後に参加を取り消す場合は、必ずご連絡ください。

② 受講料の請求書を郵送いたしますので、銀行振込にて**1月16日（火）**までにお支払いください（振込手数料は貴社でご負担いただきますようお願いいたします）。

③ 講希望者が募集人数（**20名**）になり次第、締め切らせていただきます。

※申込み後のキャンセルは1月16日（火）までといたします。以後のキャンセルはお受けいたしかねます。代理の方にご出席いただくか後日テキストを郵送させていただきます。

※受講希望者が少数の場合は中止となる場合がありますのでご了承ください。

◎申込先および問い合わせ先

自動車部品会館 総務部 飯島

電話：03-5422-6351 Eメール：ijjima@japia.or.jp

シリーズ 成功する海外子会社の経営管理（第9「回目」）

各国のビジネスリスクを踏まえた 「グローバル・クライシス編」

I. 研修関連

▼研修の趣旨

日本企業が海外事業で成功するためには、進出国でのビジネスチャンスの獲得チャレンジとともに、日本では予想しがたいビジネスリスクやクライシスへの対応が不可欠となります。

これら海外事業で発生するビジネスリスクやクライシスを的確に処置するためには、進出国の固有リスクへの理解はもとより、労務リスク、知財リスク、売掛回収リスク、不正リスク等、日本と異なるオペレーショナルリスク対応や、駐在員の誘拐等のクライシス対応に役立つ知識・ノウハウを本社・現地子会社が一体となって有し、問題発生時に迅速に対応する事が求められます。

今回のセミナーでは、近年、日本人がテロをはじめとする凶悪な事件や、一般犯罪、災害等に遭遇する危険性が高まる中、重要な課題となっている駐在員や出張者の安全確保に関して、危機管理専門家が、最近外務省が発表したゴルゴ13のマニュアルなども活用しながら海外における安全上のグローバル・リスク状況、危機に対応するマニュアル策定、各種脅威（一般犯罪、災害、テロ・誘拐、感染症等）と安全対策、緊急事態発生時の対応策について演習を交えた講演を行います。

本社で海外事業管理を担当される方、また、赴任予定の方、駐在員の方等、自社が進出する国の海外子会社を取り巻くビジネスリスクと海外子会社の経営課題、経営管理手法、突発的に発生するクライシスへの対応について体系的に学びたいというご希望の方、また、各国別に日系企業が抱える最もホットな経営課題に関し詳しくお聞きになりたい方等にご参加頂ければと思います。

▼研修内容

第一部 グローバルリスクの潮流変化と海外脱出計画について（1時間）

1. グローバルリスクの変化について
2. 海外駐在員脱出計画（中東事例）

第二部 海外安全マニュアルの意義と概要（1時間）

1. マニュアルの必要性
2. マニュアルの基本的なパターン

第三部（3時間）

1. 誘拐の発生から人質解放に至る時系列的流れ
2. 講師と受講者間のQ&A形式の誘拐事件のシミュレーショントレーニングトレーニング
3. 広報対応

II. 講師紹介

高原彦二郎

コンサルティング株式会社 代表取締役 中小企業診断士

1980年に出光興産(株)入社。1985年から出光興産(株)ロンドン支店、香港事務所副代表、北京事務所所長、2002年から出光興産(株)海外部海外課課長を歴任後に独立。出光興産在職中、中東駐在員脱出とテロリスト対応のクライシスマネジメント、海外店の内部監査、内部統制システム構築など23カ国の海外子会社経営管理等を経験。2005年7月にコンサルティング株式会社を設立し、中国、アセアンを中心に、日系企業の経営内部監査、不正監査、内部統制システム等、会計、税務、労務、知財、債権回収、撤退、リストラ等の日本企業のビジネス・リスクマネジメントを手がける。

ジェトロの中国リスクマネジメント委員会委員、中小企業庁・中小機構の海外事業評価委員会委員等を歴任。「中国進出企業の労務リスクマネジメント(日本経済新聞社出版)」など、著書多数。

大越 修

株式会社 オオコシセキュリティコンサルタンツ 代表取締役社長

警視庁に20年間在籍。この間、3年間外務省へ出向し領事としてニューヨークへ。海外におけるセキュリティを経験すると同時にFBI、NY市警など米国の法治機関と親交を持つ。帰国後、87年からエッソ石油に入社、セキュリティ部門を設立。その後、JPMorgan銀行、及びAIG(アメリカン・インターナショナル・グループ)にてセキュ

リティ・マネージャーを務める。米国の危機管理専門会社クレイトン・コンサルタンツ（トリプルキャノピーグループ）のシニア・コンサルタントを経る。米務省が支援する OSAC（Overseas Security Advisory Council）日本支部の運営委員、日本セキュリティ・マネジメント学会、危機管理システム研究学会会員。世界的なネットワークを持つ日本の企業セキュリティの草分け的存在。

萩 隆之介

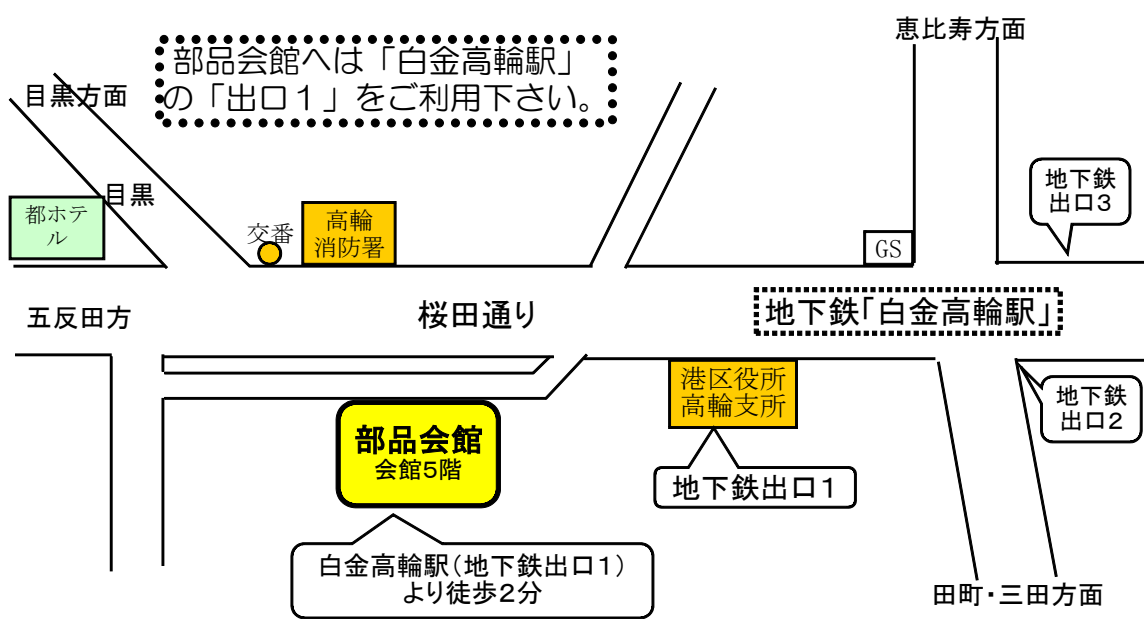
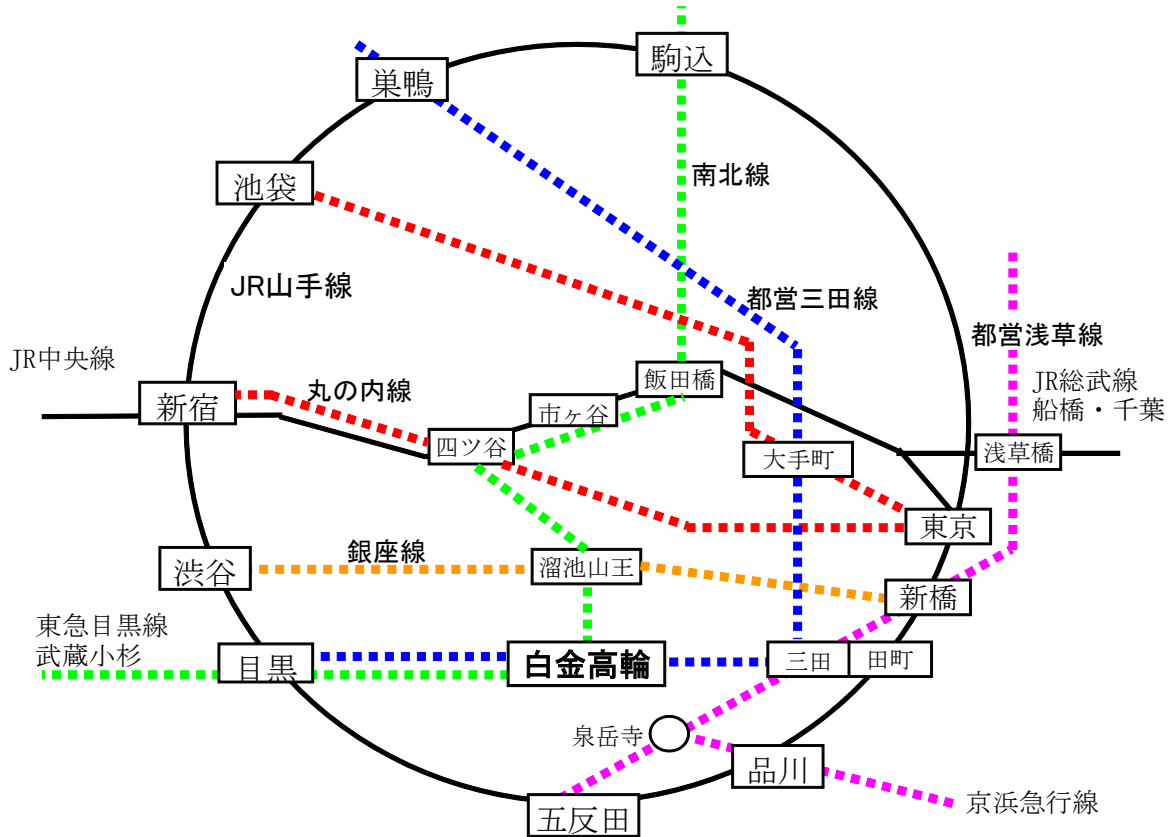
株式会社 オオコシセキュリティコンサルタンツ 副社長 シニア - コンサルタント
1965年に住友商事入社、バイルート駐在、バグダッド駐在、アルホバル(サウジアラビア)駐在、クアラルンプール駐在。バイルート駐在時に内乱激化で陸路シリアへ脱出。バグダッド駐在時にイラン・イラク戦争勃発に遭遇し、イラン機の空襲に怯える体験を。1997年から人事部門で7年にわたり海外安全専任担当として勤務。この間、インドネシア騒乱・印パ緊張・イラク戦争を通じての駐在員の緊急退避への対応、9.11を核にしたテロ対策、南米・アフリカ・東南アジアでの誘拐（未遂）及び脅迫事件への対応等で積み上げたノウハウを活かして、社内における海外安全対策システムの整備、関連マニュアルの充実化を図った。2004年1月に同社を定年退職。同年3月からシニア・コンサルタントに就任。財団法人海外邦人安全協会理事。

菊地 彰夫

パブリックリレーションズ・コンサルタント
株式会社 オオコシセキュリティコンサルタンツ 特別顧問
1977年日本最大手PR会社の株式会社電通パブリックリレーションズに入社、以後40年間にわたり企業経営と戦略広報に関するパブリックリレーションズコンサルティングに従事。多くの企業事件や国内外の事案に関わる。
企業広報戦略の助言、危機管理、クライシスマネジメント（緊急事態への対応）、イシューマネジメント（企業の紛争・係争の管理）、コーポレートレピュテーションマネジメント（企業の評判の管理）、M&A・ファイナンスコミュニケーション、コーポレートガバナンスおよびコンプライアンス体制の構築、企業法務コミュニケーション、企業トップメディアトレーニング等のPRコンサルティングが専門。大手企業の危機管理・イシューマネジメント多数。公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）副理事長を歴任。2015年6月株式会社電通パブリックリレーションズ取締役退任後、2016年7月から特別顧問に就任。「戦略広報～パブリックリレーションズ実務辞典（電通パブリックリレーションズ）」「広報・PR実務（日本パブリックリレーションズ協会）」など著書多数。

(株)自動車部品会館ご案内図

部品会館の最寄り駅は、地下鉄南北線・都営三田線の「白金高輪」です。



FAX 03-3447-5372

自動車部品会館 飯島宛

1月23日

成功する海外子会社の経営管理（第9回目）

申込日： 年 月 日

会社名：

送り先住所： 〒

TEL：

FAX：

メールアドレス

所属・役職：

氏名：

ローマ字：

よみ：

備考：

※申込書受付票を折り返しFAX致しますので、必ずFAX番号もご記入ください。
